

# 三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. FA-D-0051-D 1/21

2008年12月発行  
(2013年4月改訂版)

**表 題** DEP (Data Execution Prevention : データ実行防止) 機能に関する制限事項

**適用機種** 通信支援ソフトウェアツールMELSOFT MXシリーズ  
MX Component

三菱統合FAソフトウェアMELSOFTシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

MX Component が提供するACTコントロールを使用する場合に、Windows XP (SP2以降)、Windows Vista、Windows 7 (32ビット版/64ビット版) において、DEP (Data Execution Prevention : データ実行防止) の影響により、問題が発生することがあります。

本書では、発生する問題と回避する方法について説明します。

## 目 次

1. DEPとは.....	2
2. 発生する現象.....	2
3. 問題が発生するDEPの設定内容.....	3
4. DEPの影響による問題を回避するための設定.....	4
4.1 問題を回避するためのフローチャート.....	4
4.2 DEPの確認方法.....	5
4.3 DEPの設定内容.....	7
4.4 DEPの設定方法.....	8
4.5 リンカオプションの設定.....	10
5. 問題発生時の回避方法.....	11
5.1 フォームに貼り付けたACTコントロールが表示されない現象.....	11
5.2 フォームにACTコントロールを貼り付けるとVisual Studioが終了する現象.....	13
5.3 デザイナの表示がエラーとなる現象.....	14
5.4 デザイナの表示を行うとACTコントロールが表示されない現象.....	15
5.5 デザイナの表示を行うとVisual Studioが終了する現象.....	16
5.6 ダイアログのテストを行うとVisual Studioが終了する現象.....	17
5.7 MFCプロジェクトのプログラムを実行するとエラーが発生する現象.....	18
6. プロジェクトの種類の見分け方.....	20
6.1 Visual Studio.NETプロジェクト.....	20
6.2 MFCプロジェクト.....	20

## 1. DEPとは

DEPは、Microsoft社がセキュリティ向上のために、Windows XP SP2から追加した機能です。DEPに関する詳細は、Microsoft社の以下の文書を参照してください。

- ① TechNet セキュリティ センターの「[HOWTO] Windows XP SP2 におけるメモリ保護の構成方法」  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc700810.aspx>
- ② Microsoftサポートオンライン 文書番号：875352  
<http://support.microsoft.com/kb/875352/ja>  
 (上記は2010/4/28時点のURLです。)

## 2. 発生する現象

<b>ポイント</b>
本現象は、MX Component Ver.3以前の製品をご使用になる場合に発生します。 現象を回避するためには、以降の説明に従い設定を行ってください。

ACTコントロールを使用したユーザアプリケーションを作成するとき、および作成したユーザアプリケーションを実行するときに、DEPの影響により問題が発生することがあります。

DEPの影響により以下の現象が発生することを確認しています。

表 2-1 DEP の影響により発生する現象

状況	No	現象	内容	参照
ユーザアプリケーション 作成時	1	フォームに貼り付けたACTコントロールが表示されない	Visual Studio.NETプロジェクトを作成し、フォームにACTコントロールを貼り付けた場合に、ACTコントロールが表示されません。	5.1節
	2	フォームにACTコントロールを貼り付けるとVisual Studioが終了する	Visual Studio.NETプロジェクトを作成し、フォームにACTコントロールを貼り付けると、Visual Studioがエラー終了します。	5.2節
	3	デザイナの表示がエラーとなる	Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールを貼り付けたフォームを開くとエラーが発生します。	5.3節
	4	デザイナの表示を行うとACTコントロールが表示されない	Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールを貼り付けたフォームを開くとACTコントロールが表示されません。	5.4節
	5	デザイナの表示を行うとVisual Studioが終了する	Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールを貼り付けたフォームを開くと、Visual Studioがエラー終了します。	5.5節
	6	ダイアログのテストを行うとVisual Studioが終了する	MFCプロジェクトを作成し、ACTコントロールの貼付け後に、ダイアログのテストを行うとVisual Studioがエラー終了します。	5.6節
ユーザアプリケーション 実行時	7	MFCプロジェクトのプログラムを実行するとエラーが発生する	MFCプロジェクトで、フォームにACTコントロールを貼り付けたプログラムを作成し、作成したプログラムを実行するとエラーが発生します。	5.7節

### 3. 問題が発生するDEPの設定内容

ユーザアプリケーションの作成環境と実行環境において、使用するOS、Visual StudioのバージョンとDEPの設定内容の組合せによって問題が発生します。以下に問題が発生する組合せを示します。

以下の組合せに該当する場合は、問題を回避するためのフローチャート(“4章 DEPの影響による問題を回避するための設定”を参照)に従い設定を行ってください。

ポイント
Windows XP, Windows Vista, Windows 7 (32ビット版/64ビット版) とともに、変更を行っていない場合のDEPの設定は「OptIn」です。 現在の設定内容が不明な場合は、設定内容を確認してください。 (確認方法については“4.2節 DEPの確認方法”を参照してください。)

#### (1) ユーザアプリケーションの作成環境

ユーザアプリケーションの作成環境で問題が発生するDEPの設定を以下に示します。

表 3-1 作成環境において問題が発生する DEP の設定

作成環境		問題が発生するDEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版 /64ビット版)	Visual Studio 2010	OptIn, OptOut, AlwaysOn
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	AlwaysOn
Windows XP	Visual Studio 2010	
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	

#### (2) ユーザアプリケーションの実行環境

Visual Studio 2008, Visual Studio 2010のMFCプロジェクトで、ユーザアプリケーションを作成した場合は実行環境によって問題が発生します。(MFCプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)

ユーザアプリケーションの実行環境で問題が発生するDEPの設定を以下に示します。

表 3-2 実行環境において問題が発生する DEP の設定

実行環境	問題が発生するDEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	OptIn, OptOut, AlwaysOn
Windows XP	AlwaysOn

#### 4. DEPの影響による問題を回避するための設定

##### 4.1 問題を回避するためのフローチャート

DEPの影響による問題を回避するために、以下のフローに従い設定を行ってください。

###### (1) ユーザーアプリケーションの作成環境

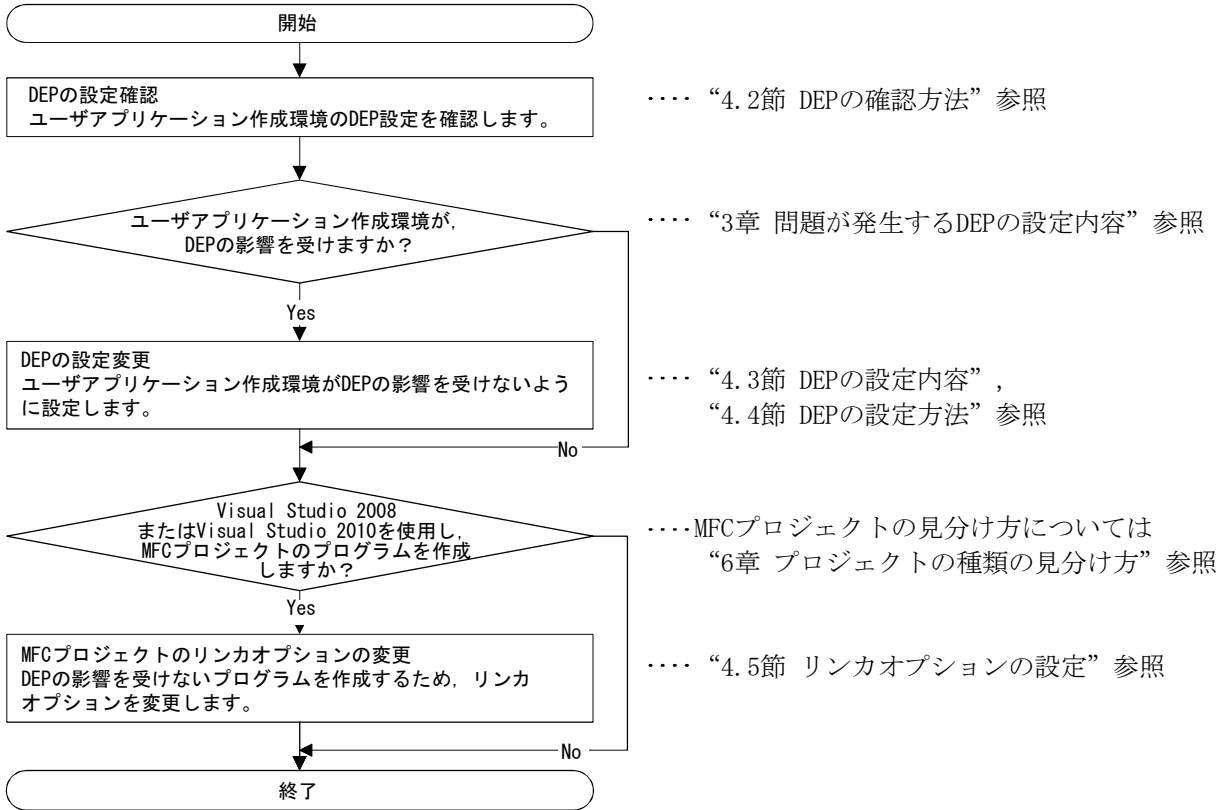


図 4.1-1 作成環境の問題を回避するための設定フロー

###### (2) ユーザーアプリケーションの実行環境

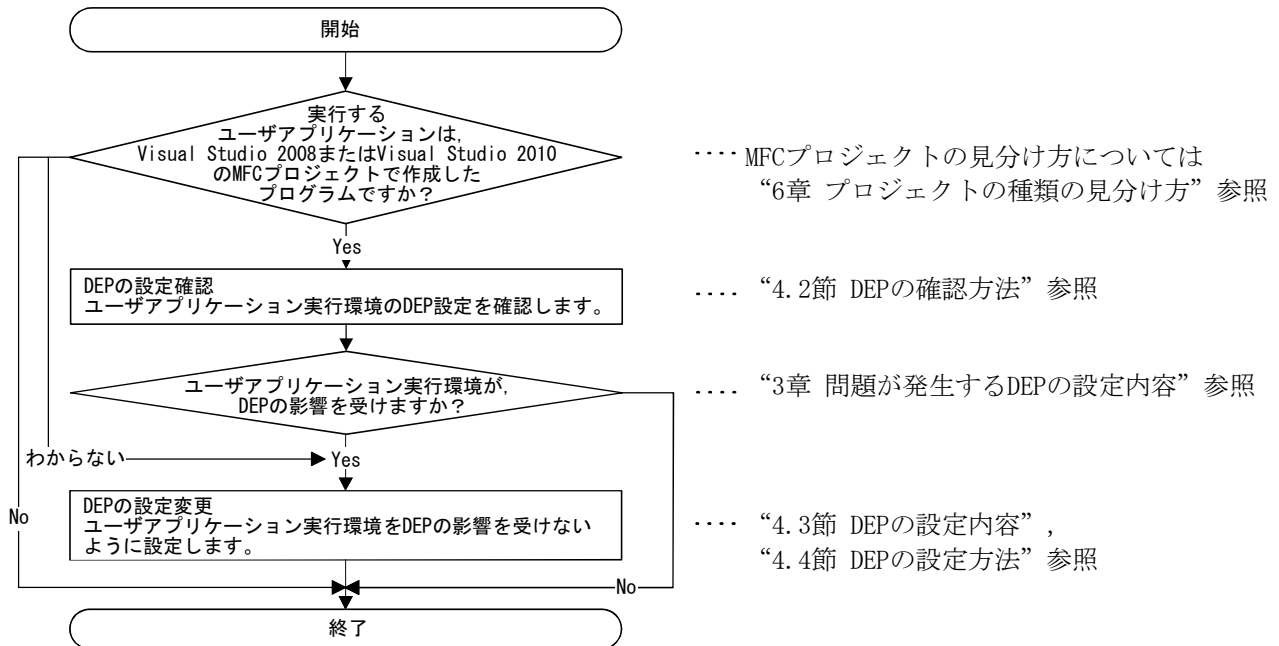


図 4.1-2 実行環境の問題を回避するための設定フロー

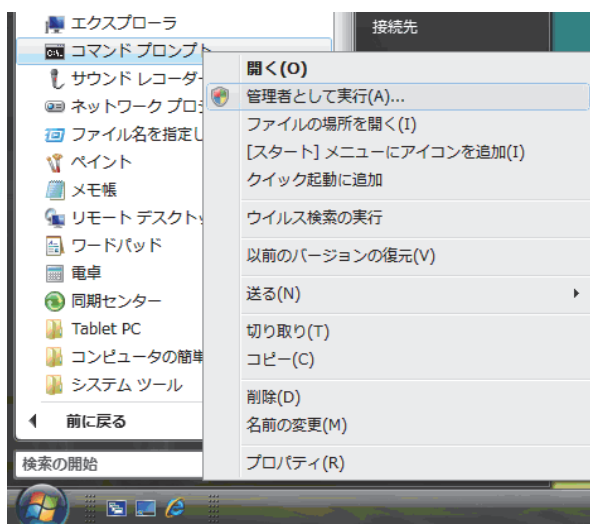
## 4.2 DEPの確認方法

Windows XP, Windows Vista, Windows 7 (32ビット版/64ビット版) とともに, 変更を行っていない場合のDEPの設定は「OptIn」です。現在の設定内容が不明な場合は, 以下の方法で設定内容を確認してください。

### (1) Windows VistaおよびWindows 7 (32ビット版/64ビット版) の場合

Administrator権限で, 以下の操作を行ってください。

- ① [スタート]－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]を選択します。
- ② [コマンドプロンプト]で右クリックし, [管理者として実行]を選択します。



- ③ 以下のように入力します。

```
BCDEDIT
```

- ④ 下図の「nx」の行に, 現在のDEPの状態が表示されます。

```

管理者: コマンド プロンプト
device                partition=C:
description           Windows Boot Manager
locale                ja-JP
inherit               [globalsettings]
default              [current]
resumeobject         [4ab403b3-4d9c-11dd-9ca4-f855e80d241b]
displayorder         [current]
toolsdisplayorder    [memdiag]
timeout              30

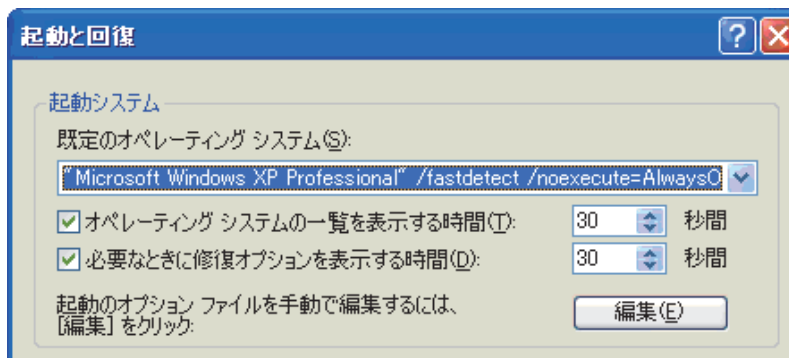
Windows ブート ローダー
-----
identifier           [current]
device               partition=C:
path                 %Windows%system32%winload.exe
description          Microsoft Windows Vista
locale               ja-JP
inherit              [bootloadersettings]
osdevice             partition=C:
systemroot           %Windows%
resumeobject         [4ab403b3-4d9c-11dd-9ca4-f855e80d241b]
nx                   OptIn
pae                  Default

C:%Windows%system32>
  
```

## (2) Windows XPの場合

Administrator権限で、以下の操作を行ってください。

- ① [スタート]—[コントロールパネル]を選択します。
- ② “作業する分野を選びます”の“パフォーマンスとメンテナンス”を選択します。
- ③ “コントロールパネルを選んで実行します”の“システム”を選択します。
- ④ <<詳細設定>>タブの“起動と回復”の **設定** ボタンをクリックします。
- ⑤ “起動システム”の **編集** ボタンをクリックします。



- ⑥ boot.iniファイルの[operating systems]の次の行を参照してください。

```
boot.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[boot loader]
timeout=30
default=multi(0)disk(0)rdisk(0)partition(1)¥WINDOWS
[operating systems]
multi(0)disk(0)rdisk(0)partition(1)¥WINDOWS="Microsoft Windows XP Professional" /fastdetect /noexecute=AlwaysOff
```

\*1

\*1 環境により異なる場合があります。

「multi...」の行の記述内容からDEPの状態を調べます。以下の表を参照してください。

表 4. 2-1 boot.ini の記述内容と DEP の状態

boot.iniの記述	DEPの状態
「/noexecute=」の記述がない場合	OptIn
「/noexecute=OptIn」の場合	OptIn
「/noexecute=OptOut」の場合	OptOut
「/noexecute=AlwaysOn」の場合	AlwaysOn
「/noexecute=AlwaysOff」の場合	AlwaysOff

### 4.3 DEPの設定内容

以下に、DEPの影響による問題を回避するための設定内容を示します。

#### (1) ユーザアプリケーションの作成環境

ユーザアプリケーションを作成する環境では、DEPを以下のように設定してください。

表 4.3-1 作成環境における DEP の設定内容

作成環境		DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版 /64ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
	Visual Studio 2008	
Windows XP	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)
	Visual Studio 2010	
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	

#### (2) ユーザアプリケーションの実行環境

Visual Studio 2008, Visual Studio 2010のMFCプロジェクトでユーザアプリケーションを作成した場合は、実行環境のDEPを以下の通り設定してください。DEPの設定とリンカオプションの変更(プログラムを再作成します)により、問題を回避できます。

##### (a) リンカオプションを変更してユーザアプリケーションを作成できる場合

MFCプロジェクトのプロパティページ ([リンカ]-[詳細]-[データ実行防止(DEP)])で、“イメージはDEPと互換性がない(/NXCOMPAT:NO)”を設定して、ユーザアプリケーションを作成します。DEPは以下のように設定してください。

表 4.3-2 リンカオプションが変更できる場合の DEP の設定内容

実行環境	DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)
Windows XP	

##### (b) リンカオプションの変更ができない場合

リンカオプションの変更ができない場合(プログラムの再作成ができない場合)は、DEPをAlwaysOffに設定してください。

表 4.3-3 リンカオプションが変更できない場合の DEP の設定内容

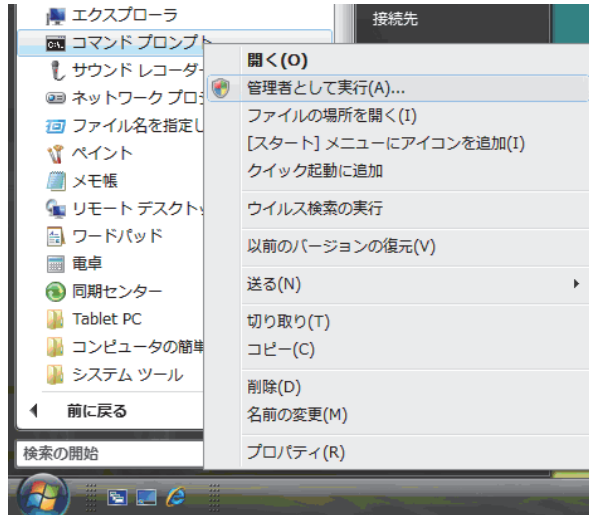
実行環境	DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	AlwaysOff
Windows XP	

#### 4.4 DEPの設定方法

##### (1) Windows VistaおよびWindows 7 (32ビット版/64ビット版) の場合

Administrator権限で、以下の操作を行ってください。

- ① [スタート]—[すべてのプログラム]—[アクセサリ]を選択します。
- ② [コマンドプロンプト]で右クリックし、[管理者として実行]を選択します。



- ③ 以下のコマンドを実行します。

表 4. 4-1 実行するコマンド

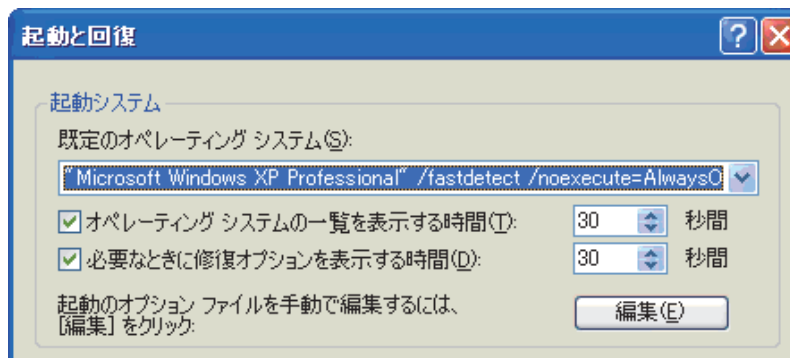
設定するDEPの状態	実行するコマンド
OptInに設定する場合	BCDEDIT /SET nx OptIn
OptOutに設定する場合	BCDEDIT /SET nx OptOut
AlwaysOffに設定する場合	BCDEDIT /SET nx AlwaysOff

- ④ パソコンを再起動します。

##### (2) Windows XPの場合

Administrator権限で、以下の操作を行ってください。

- ① [スタート]—[コントロールパネル]を選択します。
- ② “作業する分野を選びます”の“パフォーマンスとメンテナンス”を選択します。
- ③ “コントロールパネルを選んで実行します”の“システム”を選択します。
- ④ <<詳細設定>>タブの“起動と回復”の[設定]ボタンをクリックします。
- ⑤ “起動システム”の[編集]ボタンをクリックします。





```
boot.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[boot loader]
timeout=30
default=multi(0)disk(0)rdisk(0)partition(1)¥WINDOWS
[operating systems]
multi(0)disk(0)rdisk(0)partition(1)¥WINDOWS="Microsoft Windows XP Professional" /fastdetect /noexecute=AlwaysOff
```

\*1

\*1 環境により異なる場合があります。

⑥ boot.iniファイルを以下のように編集します。

表 4.4-2 boot.ini の内容と編集方法

boot.iniの内容	編集方法
「/noexecute=」の記述がない場合	[operating systems]の次の行、「multi...」の最後に、以下の記述を追加します。 OptOutに変える場合 「/noexecute=OptOut」 AlwaysOffに変える場合 「/noexecute=AlwaysOff」
「/noexecute=」の記述がある場合	「/noexecute=」の後を、設定するDEP状態に置き換えます。 OptInに変える場合 「/noexecute=OptIn」 OptOutに変える場合 「/noexecute=OptOut」 AlwaysOffに変える場合 「/noexecute=AlwaysOff」

**ポイント**

boot.ini編集は間違えないように行ってください。間違えた場合、DEPはデフォルト値 (OptIn) となります。  
上記以外の部分を編集しないでください。Windows XPが起動できなくなる場合があります。

- ⑦ メモ帳の[ファイル]－[上書き保存]を選択します。
- ⑧ メモ帳を終了します。
- ⑨ 起動と回復ダイアログボックスの  ボタンをクリックして閉じます。
- ⑩ システムのプロパティダイアログボックスの  ボタンをクリックして閉じます。
- ⑪ パソコンを再起動します。

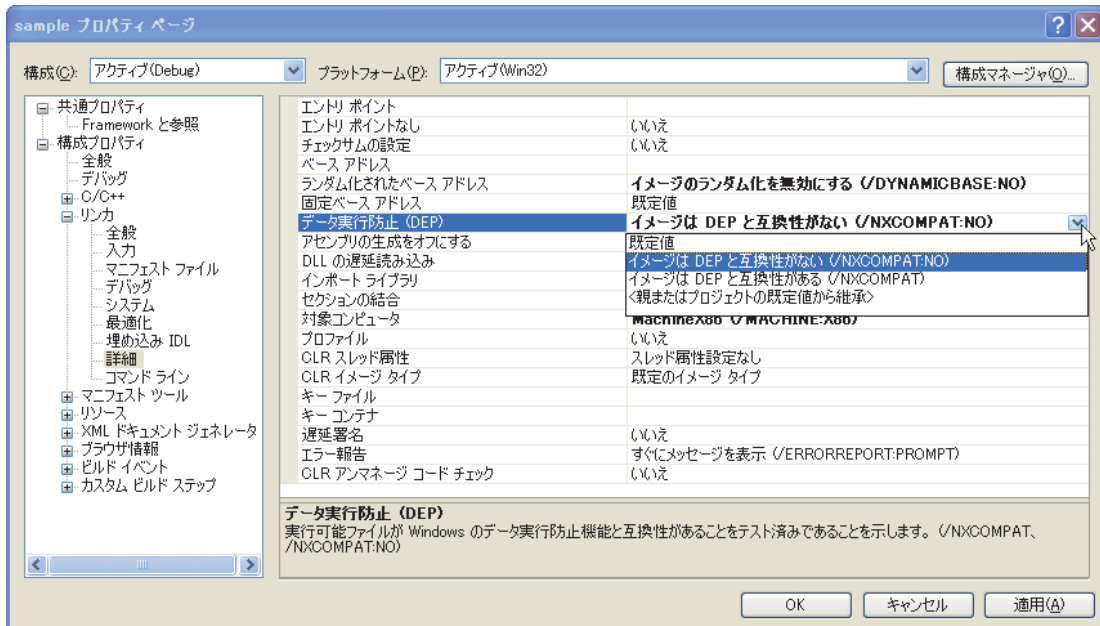
#### 4.5 リンカオプションの設定

Visual Studio 2008, Visual Studio 2010で、MFCプロジェクトのプログラムを作成する場合は、以下の設定を行った後に、プログラムのビルドを行います。(MFCプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)

① MFCプロジェクトのプロパティページにてデータ実行防止(DEP)を設定します。

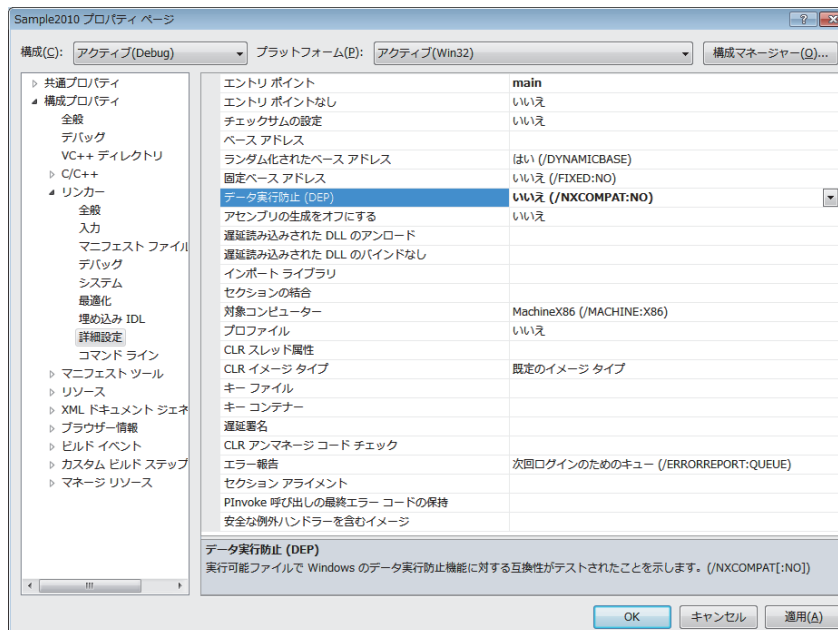
<Visual Studio 2008の場合>

[リンカ]ー[詳細]ー[データ実行防止(DEP)]で、“イメージはDEPと互換性がない(/NXCOMPAT:NO)”を設定します。



<Visual Studio 2010の場合>

[リンカ]ー[詳細設定]ー[データ実行防止(DEP)]で、“いいえ (/NXCOMPAT:NO)”を設定します。



② プログラムのビルドを行います。

## 5. 問題発生時の回避方法

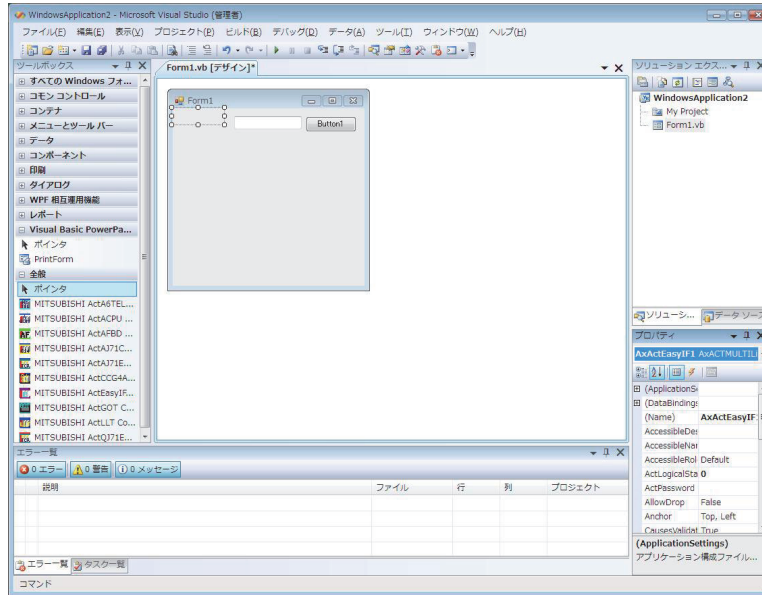
DEPの影響により発生する現象ごとに、問題の発生条件と回避方法を示します。

### 5.1 フォームに貼り付けたACTコントロールが表示されない現象

#### (1) 現象

Visual Studio.NETプロジェクトのプログラムを作成する場合に、デザイナーで、ACTコントロールをフォームに貼り付けても、ACTコントロールが表示されません。選択時に枠線のみが表示されます。

(Visual Studio.NETプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



#### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールをフォームに貼り付けると発生します。

DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.1-1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows7 (64ビット版)	Visual Studio 2010	○	○
	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005		
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2008	○	
	Visual Studio 2005	-	
Windows XP	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005		

○：発生する -：発生しない

## (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

表 5. 1-2 問題を回避するための DEP 設定

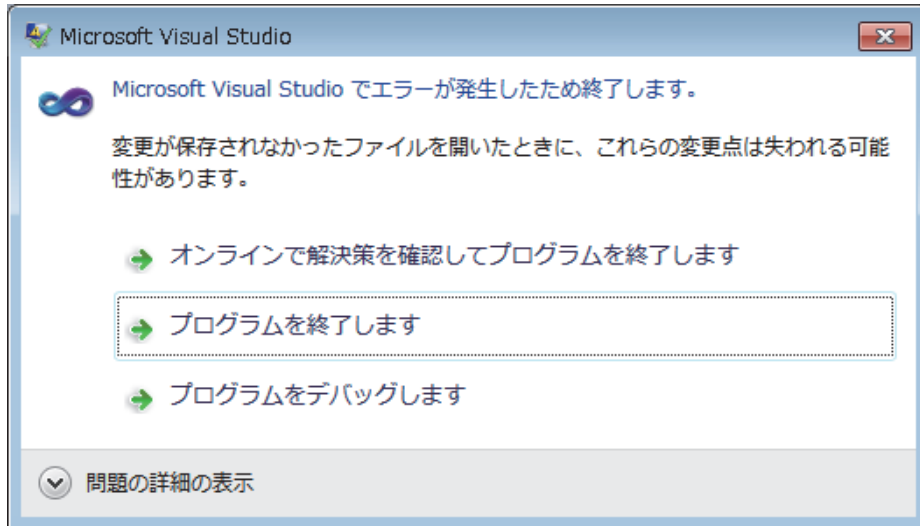
作成環境		DEPの設定
Windows 7 (64ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2008	AlwaysOff
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外
Windows XP	Visual Studio 2008	(AlwaysOnの場合:OptInに変更する
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外の場合:変更不要)

DEPの設定を変更できない場合は、ACTコントロールを貼り付けない方法(参照設定)で作成すると回避できます。

## 5.2 フォームにACTコントロールを貼り付けるとVisual Studioが終了する現象

### (1) 現象

Visual Studio.NETプロジェクトのプログラムを作成する場合に、デザイナーで、ACTコントロールをフォームに貼り付けると、以下のダイアログボックスが表示され、Visual Studioが終了します。デバッグを実行した場合は、例外(0xC0000005:Access violation)が発生し終了します。(Visual Studio.NETプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールをフォームに貼り付けると発生します。

DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.2-1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	○	○
Windows XP	Visual Studio 2010	—	

○：発生する —：発生しない

### (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

表 5.2-2 問題を回避するための DEP 設定

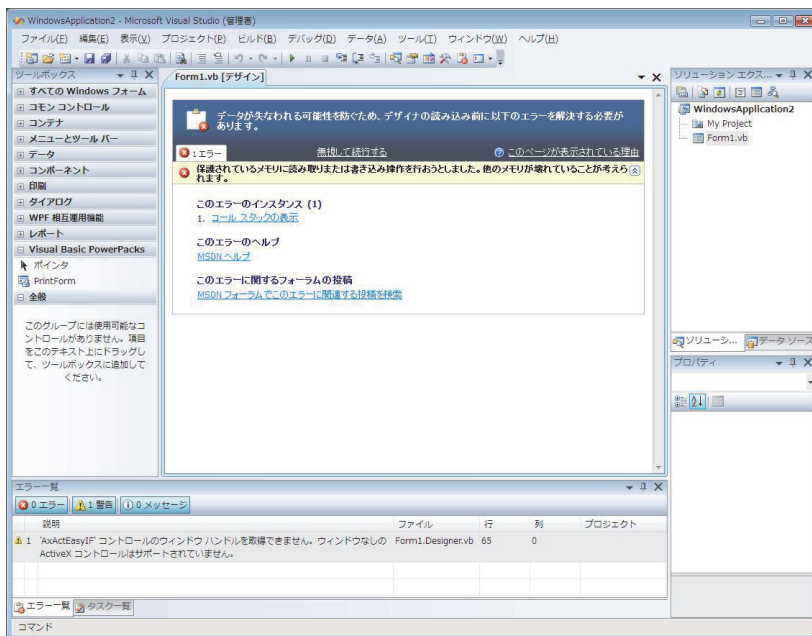
作成環境		DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
Windows XP	Visual Studio 2010	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)

DEPの設定を変更できない場合は、ACTコントロールを貼り付けない方法(参照設定)で作成すると回避できます。

### 5.3 デザイナの表示がエラーとなる現象

#### (1) 現象

Visual Studio.NETプロジェクトのプログラムを作成する場合に、ACTコントロールを貼り付けたフォームをデザイナーで開くとエラーとなる現象が発生します。(Visual Studio.NETプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



#### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールが貼り付けてあるフォームをデザイナーで表示すると発生します。  
DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.3-1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2008	○	○
	Visual Studio 2005	—	
Windows XP	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005		

○：発生する —：発生しない

#### (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

表 5.3-2 問題を回避するための DEP 設定

作成環境		DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2008	AlwaysOff
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外
Windows XP	Visual Studio 2008	(AlwaysOnの場合:OptInに変更する
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外の場合:変更不要)

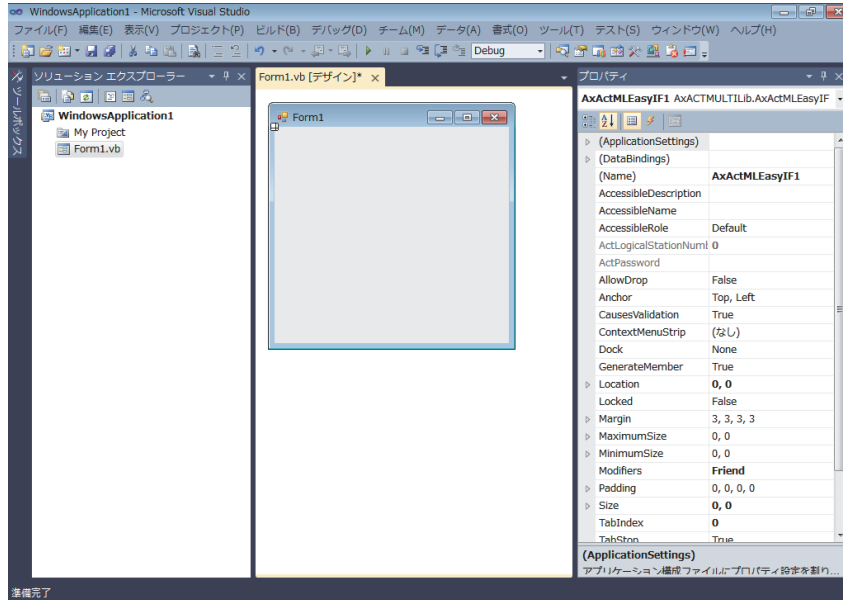
DEPの設定を変更できない場合は、ACTコントロールを貼り付けない方法(参照設定)で作成すると回避できます。

#### 5.4 デザイナの表示を行うとACTコントロールが表示されない現象

##### (1) 現象

Visual Studio.NETプロジェクトのプログラムを作成する場合に、ACTコントロールを貼り付けたフォームをデザイナーで開くとACTコントロールが表示されません。選択時に枠線のみが表示されます。

(Visual Studio.NETプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



##### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールが貼り付けてあるフォームをデザイナーで表示すると発生します。

DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.4-1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows7 (64ビット版)	Visual Studio 2010	○	○
	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005	—	

○：発生する —：発生しない

##### (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

表 5.4-2 問題を回避するための DEP 設定

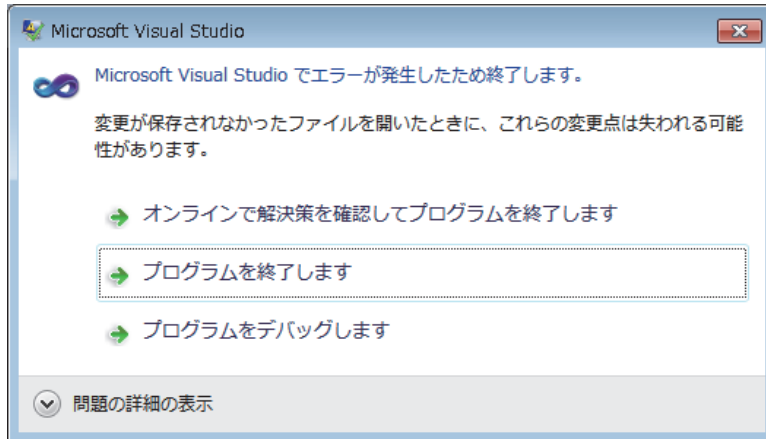
作成環境		DEPの設定
Windows 7 (64ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)

DEPの設定を変更できない場合は、ACTコントロールを貼り付けない方法 (参照設定) で作成すると回避できます。

## 5.5 デザイナの表示を行うとVisual Studioが終了する現象

### (1) 現象

Visual Studio.NETプロジェクトのプログラムを作成する場合に、ACTコントロールを貼り付けたフォームをデザイナーで開くと、以下のダイアログボックスが表示され、Visual Studioが終了します。デバッグを実行した場合は、例外 (0xC0000005:Access violation) が発生し終了します。(Visual Studio.NETプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、Visual Studio.NETプロジェクトで、ACTコントロールが貼り付けてあるフォームをデザイナーで表示すると発生します。

DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.5-1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	○	○
Windows XP	Visual Studio 2010	—	

○：発生する —：発生しない

### (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

表 5.2-2 問題を回避するための DEP 設定

作成環境		DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
Windows XP	Visual Studio 2010	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)

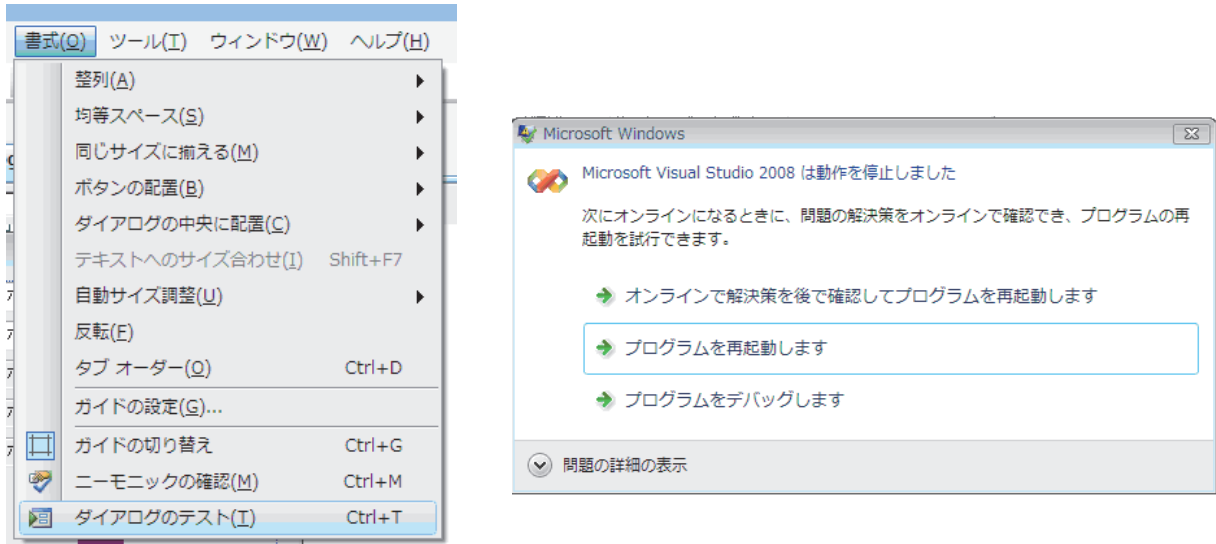
DEPの設定を変更できない場合は、ACTコントロールを貼り付けない方法 (参照設定) で作成すると回避できます。



## 5.6 ダイアログのテストを行うとVisual Studioが終了する現象

### (1) 現象

MFCプロジェクトのプログラムを作成する場合に、ダイアログのテストを行うとVisual Studioが終了します。(MFCプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



### (2) 発生条件

DEPがACTコントロールに対して有効な場合に、MFCプロジェクトのプログラムを作成し、ACTコントロールをフォームに貼り付けた後に、ダイアログのテストを行うと発生します。DEPが有効なため問題が発生する場合を、以下に示します。

表 5.6 -1 問題が発生する DEP 設定

作成環境		DEP設定	
		OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	○	○
	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005		
Windows XP	Visual Studio 2010	-	○
	Visual Studio 2008		
	Visual Studio 2005		

○ : 発生する - : 発生しない

### (3) 回避方法

DEPを以下のように設定して、回避してください。

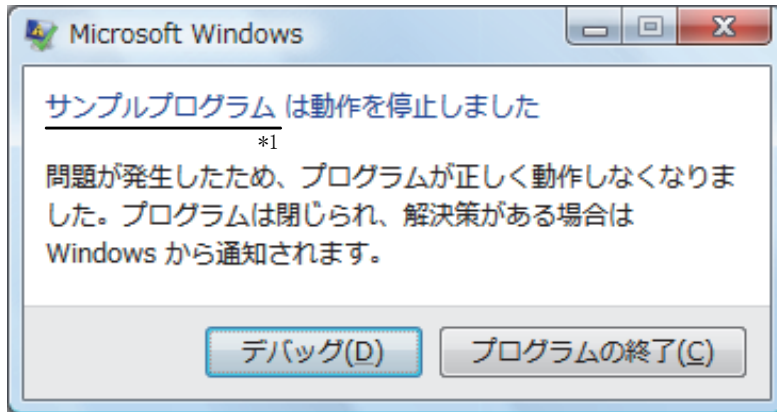
表 5.6-2 問題を回避するための DEP 設定

作成環境		DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	Visual Studio 2010	AlwaysOff
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	
Windows XP	Visual Studio 2010	AlwaysOn以外 (AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)
	Visual Studio 2008	
	Visual Studio 2005	

5.7 MFCプロジェクトのプログラムを実行するとエラーが発生する現象

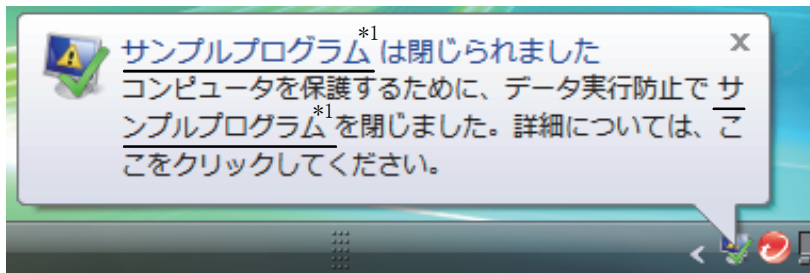
(1) 現象

MFCプロジェクトで、フォームにACTコントロールを貼り付けたプログラムを作成し、作成したプログラムを実行すると以下のダイアログボックスが表示され動作が停止します。Visual Studio 2008, Visual Studio 2010でデバッグを実行した場合は、例外 (0xC0000005:Access violation) が発生し終了します。(MFCプロジェクトの見分け方については“6章 プロジェクトの種類の見分け方”を参照してください。)



\*1 プログラム名は、リソースのVS\_VERSION\_INFOのFileDescriptionで設定した文字列となります。

プログラムの終了 ボタンをクリックすると、タスクバーに「コンピュータを保護するために、データ実行防止でプログラム\*1を閉じました」と表示されます。



\*1 プログラム名は、リソースのVS\_VERSION\_INFOのFileDescriptionで設定した文字列となります。

(2) 発生条件

MFCプロジェクトで、フォームにACTコントロールを貼り付けてプログラムを作成した場合、以下に該当すると発生します。

表 5.7-1 問題が発生する DEP の設定

実行環境	DEPの設定	
	OptIn, OptOut	AlwaysOn
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	プログラム作成 (ビルド) 時に、プロジェクトのプロパティページでリンカの設定「データ実行防止 (DEP)」が「イメージはDEPと互換性がある」となっていた場合のみ発生	○
Windows XP	—	

○ : 発生する — : 発生しない

## (3) 回避方法

DEPの設定とリンカオプションの変更（プログラムを再作成します）により、回避してください。

## (a) リンカオプションを変更してユーザアプリケーションを作成できる場合

MFCプロジェクトのプロパティページ（[リンカ]－[詳細]－[データ実行防止 (DEP)]）で、“イメージはDEPと互換性がない(/NXCOMPAT:NO)”を設定して、ユーザアプリケーションを作成します。

DEPは以下のように設定してください。

表 5.7-2 リンカオプションが変更できる場合の DEP の設定内容

実行環境	DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	AlwaysOn以外
Windows XP	(AlwaysOnの場合:OptInに変更する AlwaysOn以外の場合:変更不要)

## (b) リンカオプションの変更ができない場合

リンカオプションの変更ができない場合（プログラムの再作成ができない場合）は、DEPをAlwaysOffに設定してください。

表 5.7-3 リンカオプションが変更できない場合の DEP の設定内容

実行環境	DEPの設定
Windows Vista, Windows 7 (32ビット版)	AlwaysOff
Windows XP	

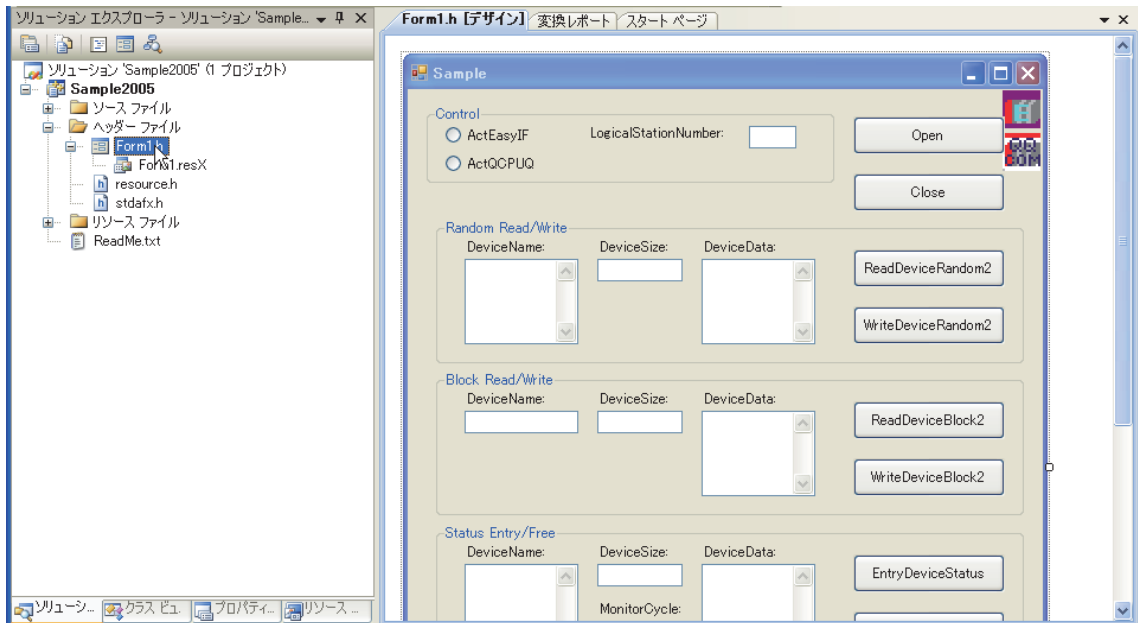
## 6 プロジェクトの種類の見分け方

プロジェクトの種類は、デザイナのフォームの開き方で見分けます。

以下に、Visual Studio.NETプロジェクトとMFCプロジェクトの場合をそれぞれ示します。

### 6.1 Visual Studio.NETプロジェクト

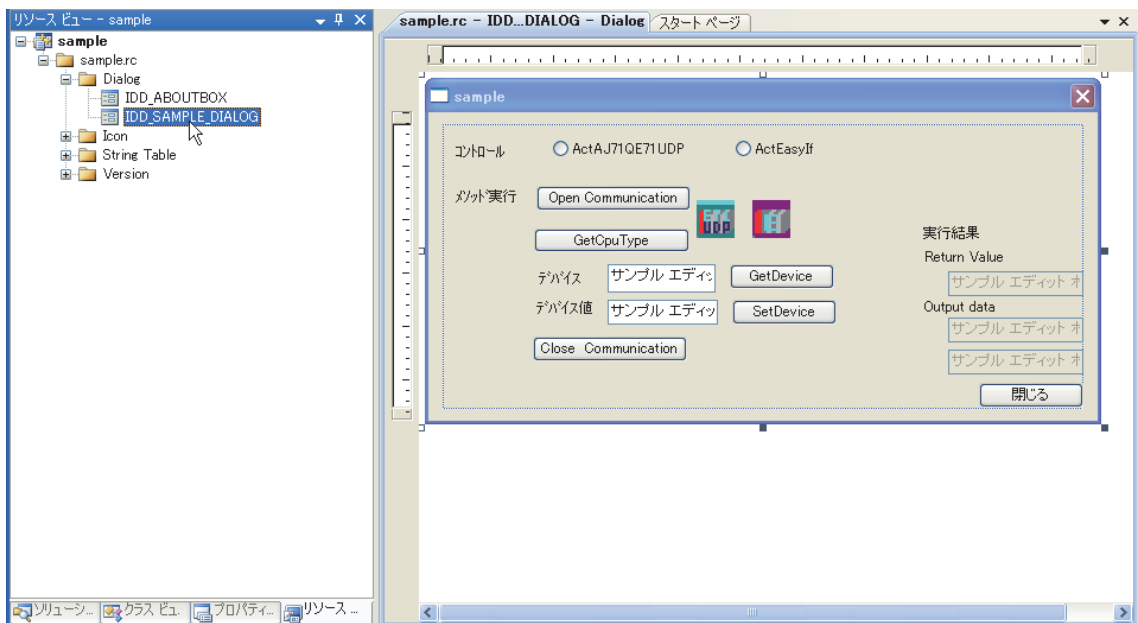
「ソリューションエクスプローラ」でフォーム(.hファイルまたは.vbファイル)をダブルクリックします。本方法でフォームを開く場合は、Visual Studio.NETプロジェクトです。



### 6.2 MFCプロジェクト

「リソースビュー」で、ダイアログのリソースIDをダブルクリックします。

本方法でフォームを開く場合は、MFCプロジェクトです。



改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
—	2008年12月	初版
A	2010年5月	Windows 7に対応しました。
B	2011年5月	・Windows 7 (32ビット版) に対応しました。 ・Visual Studio2010に対応しました。
C	2012年8月	発生条件がMX Component Ver. 3以前であることを記載しました。
D	2013年4月	1章①記載のURLを修正しました。

Microsoft, Windows, Windows Vista, Visual Studioは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

また、本資料の本文中では®, TMを省略して表記しています。



**三菱電機株式会社** 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	(03)3218-6760
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)	(011)212-3794
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)	(022)216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)	(025)241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045)224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076)233-5502
中部支店	〒451-8522 名古屋市中区西区牛島町6-1(名古屋ルーセントタワー)	(052)565-3314
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)	(06)6347-2771
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082)248-5348
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092)721-2247

三菱 FA

[www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/)

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話、FAX技術相談

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号
MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサー(下記以外)	052-711-5111
MELSEC-F FX/Fシーケンサー全般	052-725-2271※2
ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578
アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579
MELSOFT シーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ SWIJDV-GPPA/GPPQなど 052-711-0037
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works(Navigator)
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ SWID5F-CSKP/OLEX/XMOPなど 052-712-2370
MELSEC/パソコンボード	Q80BDシリーズなど
C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	
iQ Sensor Solution	
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU 二重化CPU MELSOFT PXシリーズ 052-712-2830※2
MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC-QSシリーズ) 安全コントローラ(MELSEC-WSシリーズ) 052-712-3079※2
電力計測/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ GOT-F900/DUシリーズ GOT1000/A900シリーズなど 052-719-4557※2※3 052-725-2271※2
表示器	MELSOFT GTシリーズ 052-712-2417
サーボ/位置決めユニット/モーションコントローラ	MELSERVOシリーズ 位置決めユニット/シンプルモーションユニット モーションCPU(Q/Aシリーズ) 052-712-6607
インバータ	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ
ロボット	FREQROLシリーズ 052-722-2182 MELFAシリーズ 052-721-0100

※1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2: 金曜は17:00まで ※3: 土曜・日曜・祝日を除く

●FAX技術相談窓口 受付時間※4 9:00～16:00(受信は常時※5)

対象機種	FAX番号
上記電話技術相談対象機種	052-719-6762
電力計測/絶縁監視ユニット(QE8□シリーズ)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。

※4: 土曜・日曜・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く ※5: 春季・夏季・年末年始の休日を除く

**安全に関するご注意** 本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。